

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育ポータルスタジオCoreMore新都心スタジオ		
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援との連携により、保育所等やご家族との連携が図りやすく、相乗的な効果が見込める。	児童発達支援や保育所等での生活情報をご家族の許可を基に保育所等と共有し、お子様ご本人を中心として双方にとって有意義に活用できるように情報を整理し、有効に活用するようにしている。	訪問先を増やすことや訪問頻度を積み重ねることによって、地域とのつながりを深めていくことで地域特性や個々の訪問先の理解を深めて利用児童の支援に還元していけるように研鑽してまいります。
2	訪問支援員と専門多職種との連携が図りやすい。	訪問支援員の視点だけでなく、多職種も含めて相談連携を図れる体制を活かして支援を行っている。	訪問支援員以外は、直接訪問できる機会は限られるため、扱える限られた情報の質を高めていくために視覚的に認識できる情報や定量/数値化できるような方法をもって支援をしていくことを検討していきます。
3	情報共有が適宜図りやすい。	ご利用者(ご本人/ご家族等)、訪問先関係者、当事業所3者の視点を持って、3者に意義のある訪問機会とするように情報の適切な共有をしようとしている。	取得した情報を事実と主観的な解釈、適切にはんだんができるように物事や情報の扱い方について日頃より研鑽を積み適切に扱えるスタッフの養成に今後も努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用状況が限られている。	人員に限られるため、全てのニーズに応えることが難しい。状況に応じて、期間や内容に制限を設ける必要性も考える必要がある。	人員の確保や事業所内での生産性の向上など事業所、法人としてより手厚い体制をとれるように検討してまいります。
2	利用者数が少ない。	同上	訪問先及び利用者様への制度理解の浸透にまだ余地があるため、周知できるように努めてまいります。
3	訪問先の理解を得ること。	制度の理解をするところから時間を要するため。支援に有効に使える時間に制限をもたらすこともある。	事業所等で資料等を用意し、保育所や学校の代表へのプレゼンなどを行っている。国をはじめとする行政の啓発や説明に使いやすい資料やパンフレットなどがなく情報収集を強化する。不十分な場合は、協議会などを通じて要望を挙げていくことも考えている。